

勝部市長の  
お仕事百景

シリーズで勝部市長の仕事を紹介しします



2/19 第42回市議会定例会

3月市議会定例会で、平成25年度の予算案が議決されました。一般会計の総額は712億円。当初予算としては、17年の合併以降最大だった24年度を、さらに上回る規模です。この予算を「未来へ着実に前進する予算」と位置付け、希望ある未来に向け、確実な一歩を踏み出します。



3/13 一関東中学校卒業式

3月は卒業式シーズン。私は、市内3つの中学校の卒業式に出席しました。このうち一関東中学校では「今、誘致を進めている国際リニアコライダーの建設が本格的に始動するとき、皆さんは大人になっています。一関の未来を支える大きな力になってください」と祝辞を述べました。



高齢者 25年度福祉乗車券を交付します

市は、市内在住の70歳以上の人と重度の障がいのある人に、市内のバスやタクシーを利用できる乗車券(金券)を交付します。

乗車券は10円券と1000円券の2種類で、月額1000円分(年1万2千円分)を上限に申請月分から交付します。ただし、入院中や施設入所中の人は申請できません。希望する人は、本庁社会福祉課または各支所保健福祉課で申請してください。

●高齢者福祉乗車券：本庁社会福祉課高齢福祉係 ☎ 8370 / 障がい者福祉乗車券：本庁社会福祉課障がい福祉係 ☎ 8355 / または各支所保健福祉課

福祉乗車券の内容

区分	高齢者福祉乗車券	障がい者福祉乗車券
対象	70歳以上で市民税非課税世帯のうち次のいずれかに該当 ①一人暮らし ②高齢者だけの世帯 ③同居者が障がい者用福祉乗車券の交付を受けている	①身体障害者手帳1・2級の人 ②療育手帳Aの人 ③重度の精神障害の人(精神障害者保健福祉手帳1級の人、障害年金1級の人) *自動車税、軽自動車税免除者は非該当
手続き	●窓口申請 ①印鑑・保険証など本人確認ができるものを持参して②市役所1階☑番窓口(社会福祉課高齢福祉係)または各支所保健福祉課の窓口で③申請書に記入・押印します④市が内容を確認後、窓口で交付します	●窓口申請 ①印鑑と手帳等を持参して②市役所1階☑番窓口(社会福祉課障がい福祉係)または各支所保健福祉課の窓口で③申請書に記入・押印します④市が内容を確認後、窓口で交付します
利用できる交通機関	●バス…岩手県交通、なの花バス、東磐交通、市営バス(花泉・大東・千厩・室根・川崎) ●タクシー…アイタクシー、一関タクシー、一関中央交通、なのはな観光タクシー、県南タクシー、花泉タクシー、大原タクシー、摺沢タクシー、磐井タクシー、千厩タクシー、西宗タクシー、東磐タクシー、長坂タクシー、室根タクシー、薄衣タクシー、川崎タクシー、郡南タクシー、藤沢タクシー ●福祉輸送事業限定タクシー…ケアタクシーつばさ、福光園フクちゃん移送サービス、福祉タクシー一関、ケアタクシー千田、介護社、ケアタクシー菅原	
使用の注意	①利用は対象者本人に限られます②平成25年度分の利用期限は26年3月31日までです③紛失・破損・汚損などによる再交付はしません④支給要件に該当しなくなった場合は、すみやかに返還してください	
問い合わせ先	本庁社会福祉課高齢福祉係 ☎ 8370 または各支所保健福祉課	本庁社会福祉課障がい福祉係 ☎ 8355 または各支所保健福祉課

いわてモバイルメール 4月1日からより地域に密着した情報を発信

市は、県の「いわてモバイルメール」(携帯メール配信システム)を活用して情報を発信しています。4月1日①から運用を拡大し、より地域に密着した情報を配信します。システムに「登録」すると、市の情報がメールで配信されます。登録は無料(パケット通信料は別途必要)です。配信は不定期です。配信する内容などは市広報3月15日号10ページに掲載しています。

■登録方法…①「add@mail.highway.pref.iwate.jp」に空メールを送信②しばらくして届いたメール内のURLを開き、配信を希望する地域やコンテンツを選択③「登録ボタン」を押して登録完了※登録前に「@mail.highway.pref.iwate.jp」からのメールが受信できるように設定を確認してください。

☎本庁市政情報課 ☎ 8182



骨寺村荘園交流館 展示棟が4月6日にオープン

国指定史跡であり重要な文化的景観にも選定されている骨寺村荘園遺跡のガイダンス施設として整備を進めてきた「骨寺村荘園交流館展示棟」が4月6日①にオープンします。当日は、13時30分からオープニング式典を行い、14時30分から一般公開します。

「中世絵図に描かれた、ここにしかない日本の原風景に出会う」がコンセプトの展示棟は「シアター」と「展示室」で構成されています。



骨寺村荘園交流館展示棟の概要

- 所在地…一関市蔵美町字若神子241番地2
- 構造・規模…木造平屋建て・延べ床面積327.13㎡
- 機能…シアター、展示室、ホール ほか
- 開館時間…9:00~17:00
- 休館日…毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月3日)
- 入館料…無料

幅6.5mの正面映像と床面映像を交えて骨寺村荘園遺跡の歴史と貴重な景観を紹介します。

●「中世の風に吹かれて」骨寺村荘園の歴史…骨寺村荘園が成立するまでの過程や歴史を紹介します。骨寺村絵図と現在の景観を見比べることで、時を越えて流れ

る「中世の風」を感じることができそうです。

●「天空散歩・骨寺村荘園」…重要な文化的景観である本寺地区の魅力をもっと紹介し、パラグライダーによる空撮映像で紹介します。

■展示室  
骨寺村荘園の歴史、本寺地区の自然や生活文化など、さまざまな魅力をテーマごとに紹介します。

●骨寺村のあゆみ…骨寺村の歴史を壁一面の絵巻風グラフィックで紹介。

●本寺まるわかりマップ…本寺地区全体を概観できる航空写真のマップで見どころを紹介します。

●本寺の田んぼと水系…ジオラマなどで、本寺地区の農村景観を特徴づけている小田水田の形状や水利の仕組みを解説します。

●家屋を守るイグネ…本寺の伝統的な屋敷構えとイグネの役割を解説します。

●荘園絵図ナビ…タッチパネル操作で「陸奥国骨寺村絵図」に描かれた骨寺の姿と現在の本寺を見比べて、その共通点・相違点を調べることもできます。

●本寺ミニシアター「ほねでらむら物語」…骨寺村の名前の由来ともいわれている「骨」の伝説の紙芝居を映像で紹介しします。

☎本庁骨寺荘園室 ☎ 21111 (内線8471) / 骨寺村荘園交流館「若神子亭」 ☎ 335022

広報いちのせき I-Style 「全市版」と「地域版」を発行します

まちづくりの主役である「市民」の皆さんと市役所をつなぐ広報いちのせき「I-Style」(いちのせきスタイル)は、行政情報や地域情報を満載した中東北の拠点一関の応援マガジンです。毎月2回(1日号と15日号)、行政区長さんを通じて皆さんに配布しています。

これまででは、いずれも全市共通の内容で発行してきましたが、「もっと地域の話や身近な情報を」という皆さんの声に応えるため、5月1日号から「全市版」と「地域版」を発行します。

●全市版…従来の1日号を15日号に移行して、毎月15日に発行します。特集記事、企画モノ、行政情報などを掲載します。全体的な情報を取り上げることで、市の一体感の醸成を図ります。

●地域版…毎月1日に発行します。8つの地域(合併前の旧市町村)ごとに編集し、地域のお知らせや話題を提供します。当月の行事が一目でわかるイベントカレンダーも掲載します。詳しくは問い合わせください。

☎本庁市政情報課 ☎ 8182